

平成20年11月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年10月14日

上場会社名 北興化学工業株式会社
 コード番号 4992
 代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 丸山 孝雄
 問合せ先責任者 役職名 執行役員経理部長 氏名 渡辺 英夫

上場取引所 東証一部
 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>
 TEL (03) 3279-5152

(金額表示：百万円未満四捨五入)

1. 平成20年11月期第3四半期の連結業績 (平成19年12月1日～平成20年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年11月期第3四半期	33,245	△0.2	66	△84.8	△188	—	△167	—
19年11月期第3四半期	33,302	5.2	430	45.9	270	111.5	145	—
19年11月期	45,647		732		594		781	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年11月期第3四半期	△ 6 08	— —
19年11月期第3四半期	5 25	— —
19年11月期	28 25	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年11月期第3四半期	46,027	16,244	35.3	587 94
19年11月期第3四半期	41,846	16,172	38.6	584 98
19年11月期	46,789	17,853	38.2	645 90

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年11月期第3四半期	△1,237	△2,312	2,748	1,553
19年11月期第3四半期	1,101	△763	△809	934
19年11月期	2,468	△442	△1,087	2,296

2. 配当の状況

当社は四半期配当制度を採用しておりません。

3. 平成20年11月期の連結業績予想 (平成19年12月1日～平成20年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	3.0	50	△93.2	△150	—	△100	—	△3 63

(注) 1. 通期の業績予想については、第3四半期の業績を踏まえ、前回予想(平成20年7月17日開示)を修正いたします。詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 平成20年1月17日に開示した決算短信の3. 経営方針(2)中期的な経営戦略における「平成22年度以降の業績の向上」および「平成23年度売上高500億円超、経常利益20億円台への復活」については変更はありません。なお、当期決算発表時に平成21年度を初年度とする「3ヵ年経営計画」をお知らせいたします。また、期末配当金については、中間決算発表時に公表したとおり1株当たり5円とし、中間配当金と合わせて年間配当金は10円を予定しております。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。
- 原価差異(操業度差異を除く)の棚卸資産と売上原価への配賦方法について、当第1四半期より、より通期決算に準じた方法による配賦に変更しております。当第3四半期と同様の配賦方法によった場合の前第3四半期の営業利益、経常利益はそれぞれ2億4千6百万円増加いたします。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの第3四半期までの販売は、農薬製品の国内販売は、病害虫の発生が少なく水稻農薬の販売が不振であったことから前年同期を下回りました。一方、農薬以外のファインケミカル製品の販売は、堅調な需要に対応し、拡販に努めた結果、樹脂添加剤、防汚剤などが順調に伸長しました。

この結果、全体の売上高は332億4千5百万円（前年同期比0.2%の減）となりました。

また、利益面では、原材料価格の高騰による利益率の低下や新原体開発に伴う委託試験研究費の増加などにより営業利益は6千6百万円（前年同期比84.8%の減）、経常損失は営業利益の減少や円高による為替差損などの影響もあり1億8千8百万円（前年同期は経常利益2億7千万円）、四半期純損失は1億6千7百万円（前年同期は四半期純利益1億4千5百万円）となりました。

なお、原価差異（操業度差異を除く）の棚卸資産と売上原価への配賦方法について、当第1四半期より、より通期決算に準じた方法による配賦に変更しております。当第3四半期と同様の配賦方法によった場合の前第3四半期の営業利益、経常利益はそれぞれ2億4千6百万円増加いたします。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産の残高は460億2千7百万円となり前連結会計年度末に比べ7億6千3百万円の減少となりました。これはたな卸資産の増加23億9千8百万円やその他の有形固定資産の増加17億7千3百万円はありましたが、一方で投資有価証券の減少21億4千6百万円や受取手形及び売掛金の減少24億6千1百万円があったことが主な要因です。

負債の残高は297億8千3百万円となり前連結会計年度末に比べ8億4千6百万円の増加となりました。これは未払費用の減少17億8千4百万円はありましたが、一方で短期借入金が増加したことが主な要因です。

純資産の残高は162億4千4百万円となり前連結会計年度末に比べ16億9百万円の減少となりました。これはその他有価証券評価差額金が12億7千9百万円減少したことが主な要因です。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期は12億3千7百万円の支出超過（前年同期は11億1百万円の収入超過）となりました。これは売上債権の減少が24億7千9百万円ありましたが、一方でたな卸資産の増加が23億8千3百万円、未払費用の減少が17億8千6百万円あったことが主な要因です。前年同期比ではたな卸資産の増加額の拡大18億3千1百万円や税金等調整前四半期純利益の減少5億2千8百万円により23億3千9百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期は23億1千2百万円の支出超過（前年同期比202.9%増）となりました。これは、主に当社や在外子会社張家港北興化工有限公司の新工場建設等のための設備投資による支出22億1千9百万円が主な要因です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期は27億4千8百万円の収入超過（前年同期は8億9百万円の支出超過）となりました。これは、新工場建設等のための設備投資や営業活動によるキャッシュ・フローの支出超過のための借入金の増加30億3百万円や配当金の支払い2億5千1百万円などによるものです。

(現金及び現金同等物の期末残高)

以上の結果、当第3四半期の現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ7億4千2百万円減少し15億5千3百万円（前年同期比66.3%増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、第3四半期の業績を踏まえ、前回予想（平成20年7月17日開示）を修正いたします。

なお、平成20年1月17日に開示した決算短信の3. 経営方針（2）中期的な経営戦略における「平成22年度以降の業績の向上」および「平成23年度売上高500億円超、経常利益20億円台への復活」については変更はありません。また、当期決算発表時に平成21年度を初年度とする「3ヵ年経営計画」をお知らせいたします。

期末配当金については、中間決算発表時に公表したとおり1株当たり5円とし、中間配当金と合わせて年間配当金は10円を予定しております。

(1) 平成20年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成19年12月1日～平成20年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,700	350	350	200	7 24
今回修正予想 (B)	47,000	50	△150	△100	△3 63
増減額 (B-A)	1,300	△300	△500	△300	—
増減率 (%)	2.8	△85.7	△142.9	△150.0	—

(2) 修正の理由

連結業績につきましては、売上高は、農薬以外のファインケミカル製品の増収により前回予想を上回る見込みであります。営業利益は主として原材料価格の未曾有の高騰により、前回予想を3億円下回る見込みとなりました。経常利益は円高による為替差損などにより営業外収支が悪化し、前回予想を5億円下回る見込みであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用及び引当金の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

なお、四半期決算においては、原価差異（操業度差異を除く）の棚卸資産と売上原価への配賦方法について、通期決算と比較して簡便な方法を採用しておりますが、原価差異の金額的重要性が高まったため、当第1四半期より、より通期決算に準じた方法による配賦に変更しております。この変更については、第1四半期において金額的重要性が軽微なため、変更についての記載を省略しております。当第3四半期と同様の配賦方法によった場合の前第3四半期への影響額については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】1. 連結経営成績に関する定性的情報をご覧ください。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期末 (平成19年11月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年11月期 第3四半期末)		増 減 (△は減)	(参考) 前期末 (平成19年11月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流 動 資 産	28,359	67.8	31,188	67.8	2,829	32,309	69.1
現金及び預金	949		1,570		620	2,311	
受取手形及び売掛金	11,794		12,388		595	14,850	
たな卸資産	15,234		16,874		1,640	14,475	
その他	382		357		△ 25	673	
固 定 資 産	13,488	32.2	14,838	32.2	1,351	14,481	30.9
有形固定資産	7,388		9,180		1,791	7,487	
建物及び構築物	2,809		2,840		31	2,916	
機械装置及び運搬具	3,293		3,282		△ 11	3,286	
土地	825		824		△ 1	824	
その他	462		2,234		1,772	461	
無形固定資産	632		583		△ 50	604	
投資その他の資産	5,467		5,076		△ 391	6,389	
投資有価証券	4,224		3,864		△ 360	6,011	
その他	1,243		1,212		△ 31	378	
資 産 合 計	41,846	100.0	46,027	100.0	4,180	46,789	100.0

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期末 (平成19年11月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年11月期 第3四半期末)		増 減 (△は減)	(参考) 前期末 (平成19年11月期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比		金 額	構成比
(負債の部)		%					%
流動負債	17,356	41.5	21,377	46.4	4,022	20,986	44.8
支払手形及び買掛金	7,281		9,137		1,856	8,875	
短期借入金	5,045		7,370		2,326	4,981	
1年以内長期借入金	307		520		212	497	
未払法人税等	180		5		△ 176	284	
未払費用	2,376		2,313		△ 63	4,097	
賞与引当金	303		301		△ 2	—	
その他	1,863		1,730		△ 133	2,253	
固定負債	8,319	19.9	8,405	18.3	86	7,951	17.0
長期借入金	4,107		4,395		288	3,700	
繰延税金負債	—		—		—	164	
退職給付引当金	3,153		3,091		△ 61	3,096	
役員退職慰労引当金	131		51		△ 80	139	
環境整備費引当金	829		752		△ 77	752	
その他	100		116		17	100	
負債合計	25,675	61.4	29,783	64.7	4,108	28,937	61.8
(純資産の部)							
株主資本	14,771	35.3	14,957	32.5	186	15,404	32.9
資本金	3,214		3,214		—	3,214	
資本剰余金	2,608		2,608		△ 0	2,608	
利益剰余金	9,927		10,119		192	10,563	
自己株式	△ 979		△ 984		△ 6	△ 981	
評価・換算差額等	1,401	3.3	1,287	2.8	△ 114	2,448	5.3
その他有価証券評価差額金	1,410		1,193		△ 218	2,472	
繰延ヘッジ損益	—		8		8	—	
為替換算調整勘定	△ 9		87		96	△ 24	
純資産合計	16,172	38.6	16,244	35.3	72	17,853	38.2
負債及び純資産合計	41,846	100.0	46,027	100.0	4,180	46,789	100.0

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 科 目	前年同四半期 (平成19年11月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年11月期 第3四半期)		増 減 (△は減)	(参考) 前期 (平成19年11月期)	
	金 額	百分比	金 額	百分比		金 額	百分比
売 上 高	33,302	100.0	33,245	100.0	△ 58	45,647	100.0
売 上 原 価	26,386	79.2	26,493	79.7	106	36,022	78.9
売 上 総 利 益	6,916	20.8	6,752	20.3	△ 164	9,625	21.1
販売費及び一般管理費	6,486	19.5	6,687	20.1	200	8,894	19.5
営 業 利 益	430	1.3	66	0.2	△ 364	732	1.6
営 業 外 収 益	277	0.8	242	0.7	△ 35	642	1.4
受取利息及び配当金	111		85		△ 26	119	
そ の 他	166		157		△ 9	523	
営 業 外 費 用	436	1.3	496	1.5	60	780	1.7
支 払 利 息	169		197		28	226	
そ の 他	267		299		31	554	
経 常 利 益	270	0.8	△ 188	△0.6	△ 459	594	1.3
特 別 利 益	51	0.2	1	0.0	△ 49	696	1.5
特 別 損 失	44	0.1	64	0.2	20	75	0.1
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は税金等調整前四半 期純損失(△)	277	0.8	△ 252	△0.8	△ 528	1,215	2.7
税 金 費 用	132	0.4	△ 84	△0.3	△ 216	434	1.0
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	145	0.4	△ 167	△0.5	△ 313	781	1.7

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満四捨五入)

区 分	期 別	前年同四半期 (平成19年11月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年11月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成19年11月期)
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益 及び税金等調整前四半期純損失(△)		277	△ 252	1,215
減価償却費		919	1,169	1,293
退職給付引当金の減少額	△	61	△ 4	△ 118
役員退職慰労引当金の減少額	△	10	△ 89	△ 1
賞与引当金の増加額		303	301	—
貸倒引当金の増加額		1	0	0
環境整備費引当金の減少額	△	191	△ 0	△ 268
受取利息及び受取配当金	△	111	△ 85	△ 119
支払利息		169	197	226
固定資産処分損		44	64	75
投資有価証券売却益		—	—	△ 515
売上債権の増減額		2,399	2,479	△ 658
たな卸資産の増減額	△	553	△ 2,383	201
仕入債務の増減額	△	435	△ 466	1,073
未払費用の増減額	△	1,638	△ 1,786	94
その他	△	147	9	△ 114
小 計		967	△ 845	2,385
利息及び配当金の受取額		111	85	119
利息の支払額	△	143	△ 196	△ 209
法人税等の支払額	△	118	△ 300	△ 110
法人税等の還付額		284	19	284
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,101	△ 1,237	2,468
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の売却による収入		252	—	754
有形固定資産の取得による支出	△	925	△ 2,219	△ 1,249
無形固定資産の取得による支出	△	110	△ 57	△ 118
有形固定資産の売却による収入		49	2	207
その他	△	30	△ 38	△ 37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	763	△ 2,312	△ 442
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減額	△	3,251	2,352	△ 3,291
長期借入れによる収入		3,000	751	3,000
長期借入金の返済による支出	△	302	△ 100	△ 509
配当金の支払額	△	250	△ 251	△ 277
その他	△	7	△ 4	△ 9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	809	2,748	△ 1,087
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△	6	59	△ 54
V 現金及び現金同等物の増減額	△	477	△ 742	884
VI 現金及び現金同等物の期首残高		1,411	2,296	1,411
VII 現金及び現金同等物の期末残高		934	1,553	2,296